

令和5年(2023年)5月10日<No-4>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL:0263-47-6789

かほだより

今年も酪農生産性向上対策事業の 前期バルク乳検査が始まります



松本家畜保健衛生所では今年も生産者団体に協力いただき、年2回のバルク乳細菌検査を行います。

併せて牛ウイルス性下痢 (BVD) ウイルスの遺伝子検査も行います。
採材・検査へのご協力をお願いします。

第1回目(前期)の採材日程

JA 木曾, その他の酪農家・・・5月中旬
南信酪農業協同組合・・・5月下旬
JA 大北, JA あづみ, JA 松本ハイランド・・・6月上旬

※詳細は別途家保又は生産者団体から連絡します。

伝染性乳房炎の原因菌

黄色ブドウ球菌、無乳性レンサ球菌、マイコプラズマがあげられます。

搾乳時に感染乳汁を介して感染が広がるため、感染牛を特定し、他の牛への感染拡大防止に努めることが重要です。

環境性乳房炎の原因菌

環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌、大腸菌群があげられます。

牛舎環境中に存在するため、乳頭清拭をはじめとする衛生的な搾乳により、バルク乳中の菌数を減らすことができます。

牛ウイルス性下痢 (BVD) ウイルス

持続感染牛(P1牛)がいる場合、生乳をはじめとする分泌物中にウイルスを排出し、他の牛の感染源になります。

バルク乳を検査することで、搾乳牛におけるP1牛の存在の有無を確認することができます。



検査の結果、バルク乳から BVD ウイルスや乳房炎の原因菌が検出された場合は、個体乳の検査による感染牛の特定や、搾乳立会等による問題点の検討も可能ですので、当所までお問い合わせ下さい。



松本家畜保健衛生所保健衛生課
神戸三希 (課長)
松下 彩、岩本雪乃 (担当)